

# 親子でわくわく♪ あそび場情報

各施設の利用内容が変更になっている場合があります。お出かけ前に最新の情報を必ずご確認ください。

## 青森市 「道の駅」 浅虫温泉 ゆ〜さ浅虫 キッズコーナー 広々ゆったり遊べる空間♪

2022年7月、道の駅「ゆ〜さ浅虫」がリニューアルオープンしました。広々としたキッズコーナーが新設され、地元の方だけではなく、遠方から訪れる人々にも、親子でゆっくり過ごせる場所としてよこばれていきます。

施設内には、ボールプールやブロック、すべり台などの遊具と絵本があり、授乳室もゆったりと利用できます。窓からは、美しい海と湯ノ島が見え、浅虫の風景を間近に楽しむことができます。

キッズコーナー前のロビーは、休憩コーナーとして利用できるほか、親子向けのイベントや月末マルシェなどの楽しいイベントが開催されています。



1Fのお土産コーナーでは、お弁当やサンドイッチ、ジェラートなどを販売。5Fの展望浴場「はだか湯」では、温泉と絶景が楽しめます。また、1Fインフォメーションでは、近隣地図や飲食店MAPを配布。魅力あふれる浅虫の観光案内を行っています。

館内はバリアフリーで、小さいお子さま連れでも安心して過ごせる場所です。

(取材：佐川)

住/青森市大字浅虫字螢谷341-19 電/017-737-5151

営/●キッズコーナー 9:00~17:00 (無料)

●お土産コーナー 9:00~19:00 ●ソフトコーナー 9:00~17:30

●休憩所 9:00~19:00

●会議室 9:00~20:30 (遠足等の休憩所としても利用できます)

●展望浴場 7:00~21:00 (最終受付20:30)

大人360円・小学生160円・幼児(2~6歳)70円 ※回数券あり

●ゆ〜さ市場 9:00~17:30

※上記時間は4月1日から11月30日まで

※冬季期間の営業時間はHPをご確認ください

休/年中無休

※点検のため2月に2日間休館



▲HPはこちら

道の駅ゆ〜さ浅虫



- 1 「ボールプール」が2台！子どもたちが夢中になって遊びます♪
- 2 授乳室はゆったり広々としたスペースで、快適に利用することができます
- 3 小さい子が遊べるすべり台やかわいい遊具など♪マナーを守って安心&安全に遊びましょう！



## 弘前市 城北公園交通広場

## 楽しみながら交通ルールやマナーを学ぼう！

弘前市にある城北公園交通広場は、楽しみながら交通ルールを学べる施設です。広場内には、本物のD51892(デゴイチ)や、2022年に弘前高等技術専門校の学生が改修した、旧弘前駅舎のミニチュア模型などがあり、人気のフォトスポットとなっています。

また、ミニ列車やゴーカートも人気。信号や踏切の前では、一時停止や確認の指導が受けられます。広場内では、歩行者も横断歩道を渡るなど、交通ルールを守ります。親以外の見守る目がある中で、子どもが正しい判断ができるよう、楽しんで交通ルールを学びます。



夏休み期間は、ゴーカートを1人で運転し、学科試験をクリアすると交付される「子ども免許証」のイベントや、20年ぶりにミニ蒸気機関車が走るイベントも開催。

季節限定のイベントでは、ねぶたやこいのぼりの飾りつけ、ミニSLの走るイベント、秋の交通安全週間に合わせた反射材のプレゼントなど、楽しい企画が満載！何回行っても楽しめる施設です。

(取材：新岡)

住/弘前市大字田町3-4-1 電/0172-33-6755

営/●4/1から10/31までの土・日・祝、市立小中学校の春休み、夏休み期間中の

10:00~16:00

※平日(火曜日を除く)の午前中は、事前申込があった

市内保育園・幼稚園等の交通安全教室を行っています。

休/11月1日から3月31日

入園料/無料

●ゴーカート・ミニ列車:1回100円

※ゴーカートは5歳未満、ミニ列車は3歳未満のお子さまは、

保護者といっしょにご乗車ください

●イベントの開催についてはHPをご覧ください



▲HPはこちら

城北公園交通広場 弘前



- 1 交通標識や信号機、踏切がある敷地内で体験学習を通して交通ルールを身につけます
- 2 本物の道路と同じ！左右確認！横断歩道を渡るなど、歩行者も交通ルールを再確認
- 3 「はやぶさ」や「こまち」をモチーフにした人気の乗り物「ミニ列車」は、ミニチュアつがるひろさき駅から出発！



▲「デゴイチ」の愛称で親しまれた蒸気機関車D51892、操縦席に入れます♪

老若男女に愛される、体験型の観光農園。子どもたちに大人気の動物ふれあいコーナーは、ヤギ、ウサギ、ポニーに餌やりができます。

園内には、県内最大級で通年収穫できる観光イチゴ園や、バナナの葉が茂る熱帯果樹園があり、収穫したフルーツは産地直売所でも購入できます。バナナの花は必見！販売もしています。雪国育ちの南国フルーツをぜひ堪能してください。

物産館・産直施設には、飲食・休憩スペースがあり、キッズ用椅子、ミルク用のお湯が常備された授乳スペース、さらに、おむつ交換台、おむつ用ダストボックスなど、子育てにやさしい設備が整ってます。お蕎麦やラーメン、焼きたてパン等を食べながらゆっくり過ごせます。

注文してから生のイチゴを混ぜ込んで作る「生イチゴジェラート」は絶品！グリーン葡萄に囲まれたテラス席で食べれば、最高の気分を味わえます。

予約をすれば、バナナの収穫や、園内の石窯でピザ作り体験もできます。ここでしか味わえない、特別な体験をしてみてください！ (取材：沼田)



▲人気の自家製「生イチゴジェラート」(右)



- 1 温泉熱を利用した熱帯果樹園では、バナナ、パパイヤ、パッションフルーツ、葡萄のようなジャポチカバやアロエを栽培
- 2 ウサギ小屋には入ってもOK！大好物のクローバーをあげて仲良くなるう！
- 3 1年を通しておいしいイチゴが摘み取れるイチゴ園では、季節ごとにちがう品種のイチゴが楽しめます♪



これからもっと環境をととのえていくよ！  
いっぱい遊びに来てね！



▲HPはこちら

住/上北郡おいらせ町向山東2-2-1684 電/0178-56-2884  
 開/●開園時間 8:30~18:00 ●産直 8:30~17:30 ●物産館 10:00~16:00  
 ●食工房あぐり 11:00~15:00  
 ●イチゴ狩り 10:30~15:00 (要予約) 30分食べ放題 (入園料込み)  
 中学生以上2,000円・小学生1,500円・3歳以上1,000円・2歳以下無料  
 ●イチゴ摘み取り体験 入園料200円 (摘み取ったイチゴは 200円/100g)  
 ※イチゴの育成状況により変更になる場合があります  
 ●バナナの収穫、ピザ作り体験の予約条件についてはお問合せください  
 ●足湯はしばらくの間お休み  
 休/年末年始  
 入園料/無料 ※その他の施設の料金や体験料はHPをご覧ください

観光農園アグリおいらせ

## 子どもの命を守る!! チャイルドシート

新生児から6歳未満の子どもの乗車させる場合には、**チャイルドシートを使用することが義務づけ**されています。  
守らなかった場合は、道路交通法違反で罰せられます。(2000年4月の道路交通法改正により)

### 青森県の使用状況(令和4年度調査結果) ※調査対象：6歳未満の子ども

全国 12位 (47都道府県)	チャイルドシート使用	チャイルドシート不使用			
		車両シートにそのまま着座	チャイルドシートにそのまま着座	大人用シートベルト着用	保護者の抱っこ
青森県	81.0%	14.0%	1.5%	3.5%	0%
全国平均	74.5%	10.9%	5.5%	5.8%	3.3%

青森県警察HP：チャイルドシート使用状況全国調査結果(2022) 警察庁/日本自動車連盟(JAF) 1 令和4年調査結果の図表を加工して作成  
[https://www.police.pref.aomori.jp/koutubu/koutu\\_kikaku/pdf/anzen/04child.pdf](https://www.police.pref.aomori.jp/koutubu/koutu_kikaku/pdf/anzen/04child.pdf)

### 正しい使用方法

チャイルドシートは、使用の方法を誤ると効果がなくなります。取扱説明書などに従って、正しく使用しましょう。

**乳児用シート**  
 体重：13kg未満  
 身長：70cm以下  
 年齢：新生児～1歳くらいの乳児

**幼児用シート**  
 体重：9～18kg  
 身長：65～100cm  
 年齢：1～4歳くらいの幼児

**学童用シート**  
 体重：15～36kg  
 身長：135cm以下  
 年齢：4～10歳くらいの学童

**ポイント**

- ★子どもの成長に合わせて、体格に合うものを！
- ★なるべく後部座席で使用
- ★座席に確実に固定！

大人用のシートベルトは身長140cm以上の体型に合うように設計されています。6歳を過ぎても身長が140cmに達していない場合はチャイルドシートを使用しましょう。

使用が免除されるケースがあります。詳しくは警察庁HPをご確認ください。

出典：警察庁ウェブサイト「チャイルドシートの正しい使用方法」  
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/childseat.html>

### どこに設置する？

原則として**後部座席**に設置することをおすすめします。助手席に設置した場合…

事故のときにエアバッグが開き、衝撃で子どもが大ケガをする恐れがあります。

※やむを得ず助手席に設置する場合は、座席をできるだけ後ろに下げ、前向きに固定してください。

**チャイルドシートを使用していない場合の危険性**  
 チャイルドシートを使用していない場合の致死率  
 →**適正使用者<sup>※</sup>の約4.6倍!!** (数値は警察庁統計より)  
 ※チャイルドシートが車両に適正に固定され、かつ幼児等が適正に使用している場合をいう

**万が一の交通事故などによる衝撃から子どもを守るのはチャイルドシートだけです!**

### 青森県交通対策協議会

(青森県環境生活部 県民生活文化課)より

大人なら軽傷で済む事故も、からだの小さな子どもにとっては命に関わる大事故になります。車にチャイルドシートを取り付けた後も、ゆるみがないか定期的に確認をしてください。「子どもが事故に遭ったらどうなるか」を考え、チャイルドシートを正しく使用しましょう。

夏の晴れた日は、直射日光でチャイルドシートの金属やベルト部分が熱くなり、子どもがやけどを負う危険があります。子どもを座らせる前にチャイルドシートに触れてみるなど注意が必要です。

